

KISC 11

2025
November

Kagoshima Industry Support Center



指宿酒造株式会社
代表取締役社長 南 真太郎さん



今号の表紙



主力商品の『利右衛門』
『黒利右衛門』 『赤利右衛門』

指宿酒造株式会社

代表取締役社長 南 真太郎

<企業概要>

所在地 指宿市池田6173-1
 創業 1987年5月(昭和62年)
 従業員数 18名
 事業内容 本格焼酎製造販売
 TEL 0993-26-2277
 FAX 0993-26-2278
 URL <https://riemon.com/>

今号の表紙は、指宿市で本格焼酎の製造販売を手掛ける指宿酒造株式会社の代表取締役社長 南真太郎さんです。

指宿酒造の歴史は、昭和62年、明治創業の老舗蔵元5社が理想の焼酎を造るため、協業組合を設立したところから始まります。

良質で豊かな水源に恵まれ、新鮮な早堀り芋の集荷に適した、かつての金山の麓に蔵が構えられました。平成20年には株式会社へと組織が変更されています。

定番銘柄の『利右衛門』を中心に、原料や製法に工夫を凝らした季節限定・数量限定の商品が製造されています。

◆新たな取組

令和6年発売の『さいころふたつ』は、若手スタッフの「今までにない新しい焼酎」へのチャレンジから生まれました。

原料となる芋と酵母の組合せや製法の試行錯誤を経て、若者や女性にも親しみやすい「飲みやすさ」を備えた商品が開発されました。

現在、数量限定のシリーズとして、味わいやラベルのデザインを変えた『第3章』が販売されています。「チャレンジ」や「賭け」を連想させる商品名は、会長（前社長）が命名したものです。



キャラクターを使った販売戦略も取り入れられています。

黄色と緑のコスチュームが目を引き50代の元ヒーロー、現在は指宿市内のサラリーマンという設定のキャラクターが、炭酸、焼酎、炭酸の順に三段階に注ぐ「サ

ンダーボール」の作り方を紹介するポスターが指宿市内の飲食店で掲示され、指宿酒造のホームページやYouTubeでは動画も公開されています。

もう1つの取組は人気漫画「キン肉マン」とのコラボレーションです。指宿市の観光名所を取り入れた特別ラベルを採用した『利右衛門』と『あわせ黒りえもん』を専用ボックスに収めたもので、キン肉マン公式オンラインストアのほか、指宿酒造ECサイトでも販売されています。



限定コラボラベル
【キン肉マン×指宿酒造】

木々に囲まれた工場は、「仕込みが終わったばかり」ということでしたが、備品や梱包資材、出荷を待つ商品が整然と並び、令和5年から始められた、当センターの「カイゼン」活動支援の成果が感じられました。カイゼンインストラクターによる第三者の視点からのアドバイスが、良い刺激になっているそうです。

「サンダーボール」のキャンペーンは、若い人や女性にも焼酎に親しんでもらいたいという思いから始められました。南社長は「まだまだ指宿限定です」と謙遜されますが、社名や商品名を使わずに新しい飲み方の普及を目指す姿勢からは、地元飲食店との連携や業界全体の需要拡大を優先する誠実な思いが伝わってきます。また、「地元の芋と水を使った焼酎しか名乗れない“薩摩焼酎”の知名度が上がらないことが歯がゆい」と語る言葉からは、焼酎ブームを懐かしむ世代からバトンを引き継ぐ若き代表者の自覚と頼もしさが感じられました。

【1989年8月KISC会員加入】

CONTENTS

- 2 今号の表紙
- 3 私の思い
- 4 鹿児島県よろず支援拠点 支援事例
- 5 プロフェッショナル人材戦略拠点
- 6 取引振興コーナー
- 7 特集 食品関連製造業「カイゼン」活動強化支援事業 支援事例紹介
- 8 応援します！中小企業の経営革新
- 10 特集 令和6年度主要事業の支援事例紹介
- 13 助成金・補助金の採択企業が決定しました
- 14 会員企業PRコーナー
- 16 広告



炭酸割「サンダーボール」の作り方

私の 思い



鹿児島県副知事 寺田 雅一

滋賀県出身

平成8年3月 東京大学法学部卒業

平成8年4月 自治省（現総務省）入省

平成26年7月～平成30年3月

鹿児島県総務部長

平成30年4月～総務省大臣官房参事官、
自治行政局住民制度課長、
自治税務局市町村税課長、
自治行政局地域自立応援
課長などを歴任

令和7年7月 鹿児島県副知事就任

中小企業等の「稼ぐ力」の向上に向けて

中小企業の皆様には、日頃から本県の産業振興や地域経済の活性化に御尽力を賜りますとともに、県政の推進に、格別の御理解・御協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

私は、平成26年7月から平成30年3月まで鹿児島県総務部長として勤務し、本年7月からは副知事として2度目の鹿児島赴任となりました。

本県は、屋久島や奄美大島・徳之島の二つの世界自然遺産をはじめとする多様で豊かな自然、日本一の県産和牛や生産量日本一の養殖ブリ、伝統的造りがユネスコ無形文化遺産に登録された本格焼酎、個性豊かな歴史・文化など、多くの宝物を有しており、改めて鹿児島のポテンシャルの高さを実感しました。

また、県内企業の99%を占める中小企業の中には、様々な魅力的な企業や、オンリーワン・ナンバーワンの強みを持つ企業があり、会合等でお会いした経営者の皆様は、お元気な方が多いと感じております。

本県の経済は、緩やかに回復しておりますが、食料品を中心とした物価上昇や米国の関税措置などの影響も懸念されております。

引き続き、今後の推移を注視しながら、本県の基幹産業である農林水産業や観光関連産業など、企業の「稼ぐ力」の向上などの取組を着実に進め、本県経済の持続的発展と県民所得の向上を図ってまいりたいと考えております。

特に、企業の「稼ぐ力」の向上につきましては、中小企業の省力化やDX化など、生産性向上への取組を集中的に支援しているほか、将来を担う新

たな産業の創出、県産品の国内外マーケットへの戦略的な展開などの取組を進めております。

また、中小企業等が賃上げを行いながら、持続的に事業活動を営めるよう、産業人材の確保・育成や、価格転嫁の円滑化、第三者承継等に対する支援を行っております。

さらに、半導体関連産業の振興を図るため、本年8月に、関連企業や教育機関、金融機関等で構成する「かごしま半導体関連産業共創協議会」を立ち上げました。今後、産学官金が連携して人材の確保・育成や取引拡大、海外との産業交流等の取組を推進してまいります。

県内の中小企業におかれましては、金利の上昇や原材料価格の高騰、人手不足の深刻化などにより、厳しい環境に直面しており、かごしま産業支援センターをはじめ、商工会・商工会議所等の支援機関による伴走支援は、ますます重要なものとなっております。

県におきましては、昨年度から、各地域振興局・支庁に「地域企業振興監」及び「地域企業支援官」を配置し、現場の声を県の施策に反映するとともに、地域の支援機関等と緊密に連携を図りながら、中小企業の支援に取り組んでおります。

今後とも、企業の「稼ぐ力」の向上に向けて、時代とともに変化する経営課題や、企業のライフサイクルに応じたきめ細かな支援に努めてまいります。

結びに、同センターや各種事業の積極的な御活用をお願い申し上げますとともに、皆様の今後ますますの御発展・御活躍を心からお祈りいたします。



鹿児島県よろず支援拠点 支援事例



医療的ケア児の夢を形に創業から「ゼブラ企業」へ。大阪・関西万博で世界へ挑戦！

相談者が長年の看護師経験で関わりが深かったのは小児看護、特に医療的ケア児とその家族であった。子供たちがクリスマスや七五三を楽しめず、親も疲弊する現実を目の当たりにし、退職後、「医療的ケア児用ハレ着レンタル事業」を開始。初めての創業に不安がある中、家族の紹介で鹿児島県よろず支援拠点に相談。相談者は開業するうえで、複数の課題を抱えていた。第一に、独立起業が初めてであり、事業化に向けた実務や経営管理に不安が大きい点。第二に、自己資金での商品開発や販路開拓の初期投資が難しい点。第三に、販売・広報活動のノウハウが不足しており、特にSNSを活用した情報発信やブランディング戦略の立案が進んでいない点。また、医療的ケア児の動きや制約を熟知しており、ボタンの位置や生地の種類など細部にわたるこだわりを持っていたが、そ



の価値や想いを伝える方法がわからず、大きなハードルとなっていた。まず事業化に向けた基盤づくりを最優先に進めた上で、スケジュールを可視化し、事業の全体像を共有。次に資金繰りの支援を行い、その後、ブランディング構築や、SNS広報戦略やプレスリリース、クラウドファンディングの支援を行った。複数のコーディネーターでの支援により、事業の具現化を目指した結果、取組内容が地元メディアで取り上げられ、資金調達のために取り組んだクラウドファンディングでも、目標金額の110%を達成した。また、医療的ケア児を持つタレントがSNSを拡散した事で、順調に認知度・売上を上げていった。売上は創業時から約300%増となり、医療事務・会計等の外注依頼や、所持する医療車両のレンタル事業化へのアイデアなど、複数の売上に繋がる事業を始めることができた。2024年7月には法人化を果たし、大阪・関西万博へ出展。国内外に事業を紹介することに繋がった。



ホーリーアイ株式会社

代表取締役 堀口 千智
☎ 080-5257-5720
〒890-0045
鹿児島県鹿児島市武2丁目17番1号
ソフィア武101号
<https://holly-angel.jp/>

【相談者の声】

想いを形にする道筋が明確になり、法人化や広報戦略に取り組むことができました。大阪万博では延べ500人に事業を紹介でき、海外の方からも「美しい日本の着物を着れる機会を境界線なく楽しめる機会を作っている」との感想をいただき、関西圏を中心に問合せも増えました。今後は鹿児島を代表するゼブラ企業として年間500件の利用者拡大を目指します。

【支援のポイント】

専門用語や制度説明に偏らず、医療的ケア児やその家族にとっての価値を軸にSNS社会における魅せ方・伝え方、戦略的な道筋などを支援。プレスリリース後の取材依頼やクラウドファンディングの成功に繋げる事前のインスタグラム運用など「ニーズからウォンツに変わる」事業の具現化に注力した。

鹿児島県よろず支援拠点
コーディネーター 満留 隆一



集客アップとコスト削減で経営改善へ。計画の明確化が道筋を照らす

金融機関からの紹介を受け、経営改善を主題とする事業相談に至った。当初は「介護事業の経営改善計画書の策定」が検討段階であり、「具体的なアクションプランの策定」に課題を抱えていた。まず、経営改善を専門とするCOが相談を担当。経営改善に向けたアクションプラン策定の支援が進められる。相談者はコロナ禍を機に訪問介護事業を開始したものの、現在の収益体制に課題を抱えていた。相談では訪問介護事業の売上は伸張を果たした一方、通所介護事業における売上が伸び悩む事態となり「事業部門ごとの収益に大きくバラツキがある点」が課題として挙げられた。ヒアリングの結果、外部との連携に弱みを抱え、有料老人ホームとの提携や紹介元リストの充実化に課題があると認識を一新。併せて、資金繰り管理やコスト削減を課題として設定し、支援への着手を行った。まず、資金繰り管理表を用いて「向こう6カ月分の資金繰りの見込み表」を策定し、資金ショート懸念が無いことを確認。次に、どのような打ち手が実行可能かを洗い出すことを先手に、更なる支援への着手に至った。併せて、もう一つ



の課題である集客についても分析を支援。一般論として、介護事業者は営業経験の乏しさから集客に弱みを抱えているとされるが、連携先・紹介元のリストが不足している相談者の現状に照らし合わせて考えると、集客方法に改善の余地があると分析。高介護度の利用者を対象とする専門的な事業であれば、病院との連携で集客は容易になるが、多様な利用者層を顧客とする相談者においては「幅広い集客策」が必要になると助言。具体策として、相続や終活を取り扱う行政書士青年会との連携機会を設け、集客策の協議を進めた。また、ケアマネジャー向け資料の見直しや訪問介護車両へのサイン掲示、営業ツール制作のクラウドソーシング活用を助言。その他、コスト分析サービスを利用したコストカット策の提案を行った。「経営改善に向けた具体的なアクションプラン」の計画策定は完了。より明確化したことで、先行きが明るいものとなった。成果の途上ではあるが、包括支援センターの有志らが立ち上げたボランティア団体へのアプローチに加え、行政書士青年会との連携により、利用者に相続・終活の専門家を広範囲の人脈の中から紹介可能になるというサービス面の充実化が図られた。



株式会社マシューズ

代表取締役社長 新田 司
☎ 099-210-7575
〒892-0848
鹿児島県鹿児島市平之町9-33
牧野ビル5階
<https://www.matthews-japan.com/>

【相談者の声】

相談時の課題から二転三転した計画策定でした。繋がりによる機会創出では、行政書士青年会様との連携や自走できるツールとしてコスト分析サービスなどの各種サービスの紹介と活用方法の併走に感謝です。未だ経営改善の途上ですが、意思決定に必要な知識・情報を得て、ますますの躍進を図りたいと思います。

【支援のポイント】

経営改善はコストカットよりもコスト合理化が重視される傾向にあるが、本事例では「コストカットによる対処や集客に主眼を置いた支援」が求められた。支援のポイントは資金繰り状況モニタリングや詳細ヒアリングなどCO主体での分析、多様な機関との連携、コスト分析によるコスト削減である。

鹿児島県よろず支援拠点
コーディネーター 長友 翔



Instagram



Facebook



LINE



TEL / 099-219-3740

<https://yorozu-kagoshima.go.jp/>

カゴよろ



プロフェッショナル人材戦略拠点

人材不足の今、企業の頼もしい味方

◇プロ人材・・県内で既に635件（うち高度副業等116件）成約！

県内企業の成長発展を人材面からサポート。お気軽にご相談ください。

皆様、プロ人材確保でお困りではありませんか？

- ☑ 会社を成長させる人材が欲しい
- ☑ 新たな事業を展開できる人材が欲しい
- ☑ マーケティングができる人材が欲しい
- ☑ 自社産品をPR・ブランディングしてくれる人材が欲しい
- ☑ 経営を補佐する次世代人材が欲しい、等々・・・

当拠点では、県内企業の皆様に対し、経営や専門、即戦力等に即応できる人材の採用・獲得に向け、無償でマッチングをサポートしています（登録人材紹介事業者は20社以上！）。

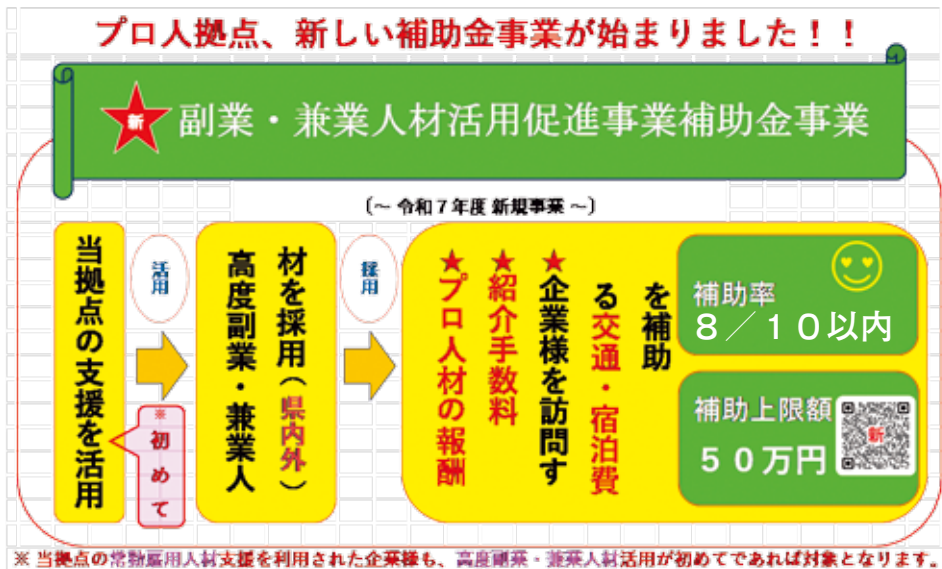
高度副業・兼業人材の活用促進も始めており、LION（株）やKANAMEL（株）等、大企業の多彩・有能な社員の副業促進にも共働して取り組んでいます。

高度副業・兼業人材活用は、皆様にとって①問題解決の即戦力、②低コスト、短期間活用が可能、③既存社員の意欲・スキルの向上など多くのメリットがあります!!

特に、経営上様々なデジタル化の推進が待ったなしの状況である中、その対応策の一つとして高度副業・兼業人材の活用は有効な手段です。

当拠点のコーディネーターが、皆様に寄り添い、会社の経営課題の掘り起こしや切り出し等の相談に乗り、必要な人材確保をお手伝いします。

人材の活用分野は、経営管理、販路・事業分野拡大、生産性向上、研究開発など多様です。



プロ人材の採用や高度副業・兼業人材の活用マッチングをサポートしている当拠点に、気軽にご相談ください。

☎ 099-219-9277

人材戦略マネージャー 木場 信人
 サブマネージャー 本 一郎
 コーディネーター 野元 慶一
 コーディネーター 有村 吉弘
 コーディネーター 塩屋 文和

◇ (公財) かがしま産業支援センター
 鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点
 E-mail : projinzai@kisc.or.jp
 URL : https://www.kagopro.jp/



取引振興コーナー

取引振興課では、県内モノづくり企業の取引拡大につなげるため、展示会での県内企業 PR、取引商談会の開催、発注ニーズをもつ企業からの依頼等により、受発注企業の「取引あっせん」を行っています。加えて今年度は、半導体関連の国内展示会出展や台湾での大規模展示会、企業視察を実施し、半導体関連の取引情報の収集や販路開拓等の支援も行っています。

★「取引あっせん」の実施状況と効果

【令和5年度における取引あっせん案件

～1年後も約7割が取引継続、取引金額は当初の10倍強に！】

令和5年度は291件の取引あっせんを行い、68件、41,551千円の取引が成立しました。1年後の状況を調査したところ、取引が継続しているものは43件、金額は当初の10倍強に拡大していることがわかりました。

あっせん時【R5年度】

◆取引あっせん	291件
◆成立件数	68件
◆初回取引金額	41,551千円

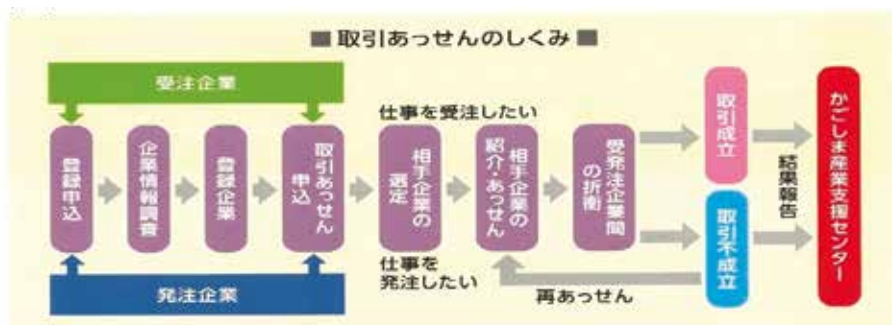
1年後【R6年度】

◇取引継続件数	43件 (約7割)
(初回取引金額)	22,707千円)
◇継続取引金額	246,682千円 (初回の10倍強)



【取引あっせんのしくみ】

※あっせんを行うために登録手続き（無料）をお願いします。



★令和7年度かごしま取引商談会開催のご案内

県外の発注企業等を招へいし、県内の受注企業と商談を行っていただく「かごしま取引商談会」を開催しますので、新規取引先の開拓にご活用ください。

商談会の詳細や参加申込方法については、当センターのホームページをご確認ください。

【日時：令和8年2月4日（水）13：00～ 会場：鹿児島サンロイヤルホテル】



問合せ先 取引振興課 TEL：099-219-1274

特集

食品関連製造業「カイゼン」活動強化支援事業
支援事例紹介

- 当センターでは、食品関連製造業者に対して、カイゼン活動による効率的な生産現場作りをより一層推し進める取組を支援しています。このことで、資金・人材面等の経営資源への効果等を高め、さらなる新商品開発や販路開拓への取組などによる経営革新や経営基盤の強化につなげます。
- この事業を活用しカイゼン活動に取り組んだ事例を紹介します。

支援企業 泰平食品有限会社（阿久根市）

1971年創業の泰平食品有限会社は、ボンタン等の柑橘類の生産、柑橘を原料とした加工品の製造・販売を行っています。

今回、会社の作業環境改善や生産性向上のためのカイゼン活動を行い、利益創出、職員の待遇改善につなげたいとの支援要請をいただきました。



◆支援◆ 5S、衛生管理、作業工程の見直し、多能工化

1. 5S、衛生管理

- ・カイゼン前…資材・備品等の保管場所が固定されておらず、使用していない物が置かれたままになっていたため、必要な物を探す時間を要していた。
また、作業台の劣化等により衛生面も良くなかった。
- ・対応策 …資材等の保管場所を固定し、資材名も表示するなどの整理・整頓を行った。
また、不要な物を撤去し、作業スペースや作業道具の設置場所に充てた。
作業台は、台下のスペースが活用でき、軽量で清掃のしやすいものに更新した。

【成果】

資材等を探すムダな時間が少なくなった。また、作業スペースが広がるとともに、作業道具を取りに行く動線が短縮された。衛生管理に関する従業員の意識も向上した。

2. 作業工程の見直し

- ・カイゼン前…ボンタンの皮むきは手作業で行っていたため、職員の負担となり時間も要していた。
また、作業工程が非効率で、設備の配置も歩行ロス等が発生しやすいものになっていた。
- ・対応策 …ボンタンの皮むき機を導入した。また、工程ごとに現状、課題の把握と改善策の検討を行い、最適な設備と人員の配置、作業方法の見直し等を行った。

【成果】

機械導入による作業時間短縮で年間約200万円の利益改善ができた。
また、最適な設備配置と作業工程の見直し等で年間約200万円の利益改善ができた。

3. 多能工化

- ・カイゼン前…製造・加工・出荷作業や農園作業など、職員によって従事する業務が固定されており、一部の職員の負担が大きくなっていた。
- ・対応策 …作業マニュアル、多能工訓練計画表を作成し、全職員が製造・加工・出荷作業に従事できるようにした。また、製造作業者が農園作業もできるようにした。

【成果】

作業の進捗状況に応じた応援体制がとれるようになり、特定の職員の負担が軽減し、有給休暇取得率も向上した。また、農園作業員が3名定年退職したが、他部署からの応援で対応できるようになり、年間約500万円の利益改善ができた。

泰平食品有限会社

代表取締役 下園 博光

所在地：阿久根市大川8370

設立：1971年

従業員数：14名

事業内容：ボンタン等の柑橘類の生産・製造

TEL：0996-74-0056

FAX：0996-74-2078

URL：https://taiheibontan.stores.jp

E-mail：taiheibontan@po2.synapse.ne.jp

カイゼンインストラクターから



磯脇 弘人

会社の担当者は、カイゼンの必要性を職員に理解してもらうことや、モチベーションの持続などに苦労されましたが、取組によって、大幅な利益改善ができました。

利益改善により職員の待遇改善、職場環境改善を行い雇用の安定化にも繋がりました。

今後も継続的な改善支援に取り組みたいです。

【お問い合わせ先】（公財）かごしま産業支援センター 総務情報課 TEL：099-219-1275

応援します！中小企業の経営革新！

～経営者のための経営革新支援制度活用術～

- 当センター及び県では、事業者が新たな事業活動を通じて経営の向上を図る取組を支援しています。
- 「中小企業等経営強化法」に基づく経営革新計画を作成して県の承認を受けた後、支援策を活用して新事業に取り組んでいる企業の事例を紹介します。

鹿児島精機株式会社

所在地：霧島市溝辺町有川1655番地
 設立：昭和50年（1975年）
 資本金：24,000千円
 従業員数：49名（男性29名、女性20名）
 業種：製造業
 TEL：0995-55-1980
 HP：https://www.kagoshima.co.jp/

Q. 企業概要・沿革について教えてください。

当社は、昭和50年に工業用ミシンの部品製造会社として創業し、平成4年から主要事業である精密機械部品加工業を営み、主に、半導体装置や自動車、医療関係等の部品の加工製造を行っております。

県内拠点のほか、中国やベトナムにも設計事務所や加工工場を構えており、お客様のニーズに応じた「最適地生産」をモットーに、グローバルな視点で事業を展開しております

計画承認：令和3年5月25日
 テーマ：定圧ピンゲージ保持器の開発

Q. 経営革新計画に取り組むきっかけとその内容を教えてください。

新型コロナウイルス感染症の流行による受注減少が契機となりました。当時、取引先の約70%が都市圏に集中していたため、県外への移動制限などの影響を受け、営業活動に大きな支障が生じました。

このような状況の中で、自社の独自技術の確立や製造工程の見直しによる効率化に取り組む必要性を強く実感しました。

その打開策として、鹿児島県工業技術センターとの共同研究に取り組み、「定圧ピンゲージ保持器」の開発を柱とする経営革新計画を推進しました。

その結果、自社製部品の検査効率や品質の向上が図られたほか、「定圧ピンゲージ保持器」の商品化により、新たな事業展開への第一歩を踏み出すことができました。

.....定圧ピンゲージ保持器とは.....

「ピンゲージ」とは、部品の穴径を測定するための検査工具であり、「保持器」はその測定時にピンゲージを保持する器具です。当社の保持器は、圧縮バネを組み込むことで、一定以上の挿入力が加わるとピンが突起する仕組みを採用しています（特許取得済み）。これにより、検査員が手応え（感触）によって異常を検知できるようになり、検査結果のばらつきを抑えることが可能となります。



代表取締役 山村 幸弘 氏

Q. 経営革新計画承認で活用した制度はありますか。

当社は、県の「中小企業経営革新支援事業費補助金」を令和4年度および令和6年度の2回にわたり活用しました。

令和4年度には、三次元測定器を導入し、「定圧ピンゲージ保持器」による高精度な検査を実現するための新商品開発を進めました。

令和6年度には、「定圧ピンゲージ保持器」の販路開拓を目的に、アメリカで開催された世界最大規模のテクノロジー見本市「CES2025」に出展しました。その結果、1社との商談成立に加え、継続的な交渉先を5社確保することができました。



定圧ピンゲージ保持器

CES2025の様子

Q. 経営革新計画の承認を受けて良かったと思うことは何ですか。

経営革新計画を策定する過程で、専門家の意見を取り入れたり、会社の事業計画（売上係数など）を算定したことで、計画策定後の丁寧な見直しができ、目標の達成状況を正確に把握できました。

また、補助金を始めとする、承認企業だけが活用できる支援がある点も大きな利点であると思います。

■経営革新計画■

新商品の開発・生産、新サービスの提供など新たな事業活動を通じて、経営の向上を図ること（経営革新）に積極的に取り組む中小企業を支援しています。

- 【承認基準】** ①新商品の開発又は生産、新役務の開発又は提供など新たな取組であること。
②付加価値額と給与支給総額の数値目標が次のとおりであること。

経営指標 \ 事業期間	3年	4年	5年
付加価値額（営業利益+人件費+減価償却費）	9%以上	12%以上	15%以上
給与支給総額（役員報酬+給料+賃金+賞与+各種手当）	4.5%以上	6.0%以上	7.5%以上

【対象者】 次の①②に掲げる特定事業者等です。

①特定事業者として経営革新計画の対象となる会社及び個人の基準

主たる事業を営んでいる業種	従業員基準 (常時使用する 従業員の数)
製造業等	500人以下
卸売業	400人以下
サービス業	300人以下
小売業	300人以下

②特定事業者として経営革新計画の対象となる組合及び連合会

組合及び連合会	中小企業者となる要件
事業協同組合、事業協同小組合、協同組合連合会、水産加工業協同組合、水産加工業協同組合連合会、商工組合、商工組合連合会、商店街振興組合、商店街振興組合連合会	特になし
生活衛生同業組合、生活衛生同業小組合、生活衛生同業組合連合会、酒造組合、酒造組合連合会、酒造組合中央会、酒販組合、酒販組合連合会、酒販組合中央会、内航海運組合、内航海運組合連合会、技術研究組合	直接又は間接の構成員の2/3以上が特定中小企業者であること

※詳細は、県ホームページでご確認ください。 <https://www.pref.kagoshima.jp/af02/keieikakushin/shienseido.html>

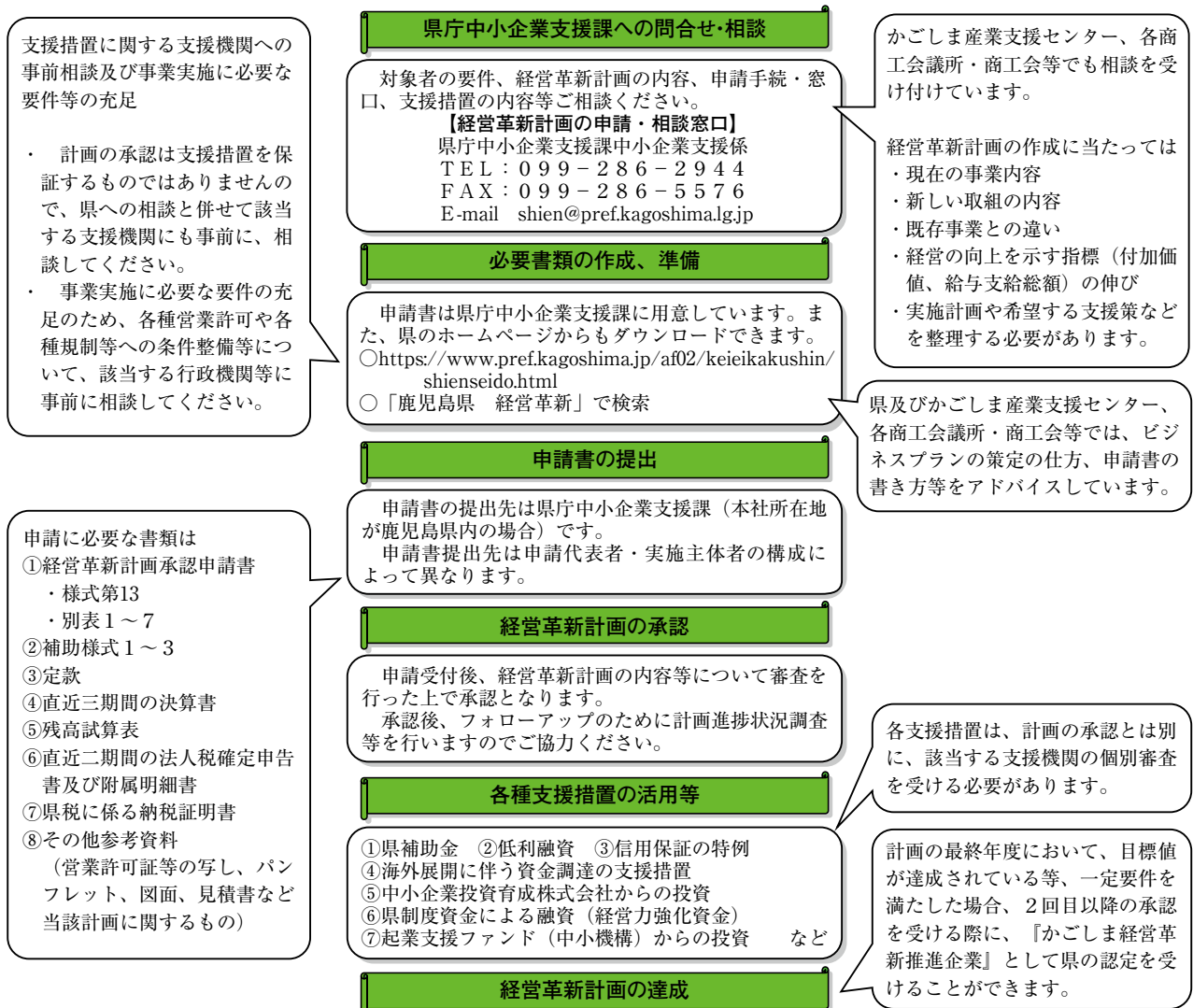


【支援策の内容】 ①日本政策金融公庫による低利融資 ②信用保証の特例 ③県補助金 など

【問合せ先】 鹿児島県中小企業支援課 中小企業支援係

TEL : 099-286-2944 (直通)、FAX : 099-286-5576、E-mail : shien@pref.kagoshima.lg.jp

経営革新計画承認手続きのフロー





かごしま産業支援センター 令和6年度主要事業の支援事例紹介

(公財) かごしま産業支援センターでは、県内中小企業の総合的な支援機関として、新事業創出、戦略的産業振興、地域資源活用、研究開発・技術、マーケティング、情報化、人材育成等の様々な支援に積極的に取り組んでいます。

今号では、令和6年度の主要事業の支援事例をご紹介します。

◇新事業創出等支援

○専門家派遣事業

創業者や中小企業等の経営、情報化、販売、マーケティング等の様々な経営相談に対応して、センターに登録している民間の専門家を派遣し、診断助言を行いました。 (採択10件)

企業名：株南光
所在地：鹿児島市七ツ島2-1
業種：金属製品製造業



《本社工場と
診断助言の様子》

《テーマ》
BCMに関するノウハウ蓄積と
社員への更なる浸透

《内容・成果》

事業内容：①BCPの見直し（ブラッシュアップ）

- ②訓練シナリオの検討及び策定方法
- ③自然災害に対して必要となる危険予知と対策の検討
- ④訓練シナリオの効果的な運用
- ⑤社員（家族）への啓発及び運用にあたっての役割分担と教育訓練のノウハウ

具体的な成果：・社員教育、机上訓練による効果的な運用、判断力および対応力、BCM（BCPのマネジメント）に関する指導により、訓練シナリオ作成、実施手法や有効性など知見を深めることができました。
・本部・工場別のBCPを策定したことで取引先からの信用力が高まり、社員の雇用維持及び社員家族の安全確保による社員満足度の向上につながりました。

○新産業創出ネットワーク事業（研究開発支援）

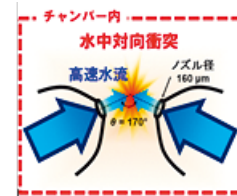
新事業進出のために実施する新技術や新製品の研究開発を行う県内の中小企業者等に対し、研究経費の一部を補助しました。 (採択5件)

企業名：坂元醸造(株)
所在地：鹿児島市上之園町21-15
業種：食料品製造業

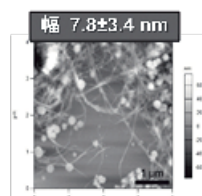
《テーマ》
ナノ化黒酢製造廃棄物を用いるマトリョーシカ型
再生プラスチック物性向上循環システム検証研究



黒酢ペリクル



ACC法



黒酢由来CNF

《黒酢ペリクルからACC法を経てCNFになるフロー図》

《内容・成果》

壺造り黒酢製造時に産出されるゲル状ペリクルを用いたセルロースナノファイバー（CNF）の検証研究を行いました。

このペリクルは通常廃棄されますが、本研究では水中対向衝突法（ACC法）で処理を行い、得られたCNFを精密に評価したところ、微生物由来のCNFに比べ繊維幅を3分の2まで細くできることがわかりました。しかも、他の製造方法よりも低エネルギーでCNFが得られます。

また、この黒酢由来のCNFを被覆したプラスチック複合材料は、耐衝撃性が向上することもわかりました。今後も研究を継続し、プラスチックへ活用するなど黒酢製造廃棄物の循環を目指します。

○新産業創出ネットワーク事業（新事業創出支援事業）

独自の技術を用いた新製品の開発や地域資源を活用した地域課題の解決に資する製品の開発等に取り組む県内の中小企業者に対し、人材育成、研究開発、販路開拓等に要する経費の一部を補助しました。（採択19件）

企業名：株式会社1129
所在地：鹿児島市南林寺町28-8
業種：肉加工品製造業



《経産牛のももステーキ》

《テーマ》
経産牛の赤身旨味指標の確立と販路開拓

《内容・成果》

「黒毛和牛を、もっと価値あるものに」を経営理念に掲げ、従来、主流であった霜降り肉ではなく、経産牛の赤身肉に着目し、肉質の向上と販路開拓に取り組んできました。今回、赤身肉の更なる付加価値向上と販路拡大を目的に、試作・研究開発やマーケティング・販路開拓を行いました。

その中で、鹿児島大学共同獣医学部による経産牛の赤身肉と黒毛和牛の霜降り肉を対象としたアミノ酸濃度の比較試験では、検体数は少ないものの、「うま味アミノ酸」と「甘味アミノ酸」が突出している経産牛が多いという結果が得られ、霜降り肉と同等以上の味わいがある可能性に自信を深めることができました。

また、ECサイトによる通信販売や飲食店経営を通じた売上も向上しているため、今後も経産牛赤身肉の付加価値向上と販路拡大に努めます。

企業名：キリシマ精工(株)
所在地：霧島市国分川原918-7
業種：金属製品製造業



《開発した「加工部品」》

《テーマ》
手術支援ロボット部品製造技術確立に伴う医療用ロボット分野への進出

《内容・成果》

医療機器メーカーが取り組む手術支援ロボット及びシステムの開発時点から、当社の加工部品（処置具）を採用してもらい、薬事承認の段階から事業に関わる体制の構築を目指すため、試作・研究開発を行いました。

今回、新たな加工方法を試作・研究開発したことで、95%の良品率を維持できるようになり、工程の短縮も実現しました。また、洗浄工程では耐熱・耐薬のトレーを検証したことで、人による作業から自動洗浄機での対応が可能となり、検査工程では測定機をプログラムで動かす無人化と効率化を図ることができました。これらの取組により、製品によっては粗利率約67%を達成することができ、今後は、海外販売も計画しています。

企業名：株栄電社
所在地：鹿児島市下荒田1-36-24
業種：一般電気工事業



《肉牛のCASパワーの給餌の様子》



《CASパワー貯蔵タンク》

《テーマ》
焼酎粕を活用した乳酸発酵飼料・肥料の製品開発及び販路開拓

《内容・成果》

これまで産業廃棄物として処理されてきた焼酎粕を、低コストで再資源化し、家畜飼料や肥料として有効活用・販売することを目的に、焼酎粕に乳酸菌と糖蜜を加えて発酵させた「焼酎粕乳酸発酵液（CASパワー）」を開発しました。本事業では、その効果を実証するための試作・研究開発を行うとともに、人材育成やマーケティング・販路開拓を行いました。

鹿児島大学との共同研究およびフィールド試験を通じて検証した結果、養殖分野では「薬剤費の削減」「カンパチの摂餌率向上」「体重増加」などの効果が確認されました。また、畜産分野では「子牛の成長促進」「下痢症状の改善」「飼料の食べ残し減少による廃棄ロス削減」「夏季の受胎率向上」「乳量の増加」など複数の効果が確認されました。このほか、農業分野では有機JAS適合資材としての認証を取得し、今後、より幅広い分野での活用が期待されます。

○起業支援事業

鹿児島県ビジネスプランコンテストの最終審査会参加者を対象に、そのビジネスプランの事業化を推進するために必要となる費用の一部を助成しました。(採択8件)

企業名：(株)吹上浜の未来を考える漁業者たち
所在地：日置市東市来町伊作田
業種：種苗養殖業



ラボの整備

採卵用の月日貝

《テーマ》
至高の二枚貝「月日貝」の完全養殖に挑戦

《内容・成果》

ツキヒガイ（月日貝、学名：Ylistrum japonicum）は「かごしま旬のさかな」にも選定されている県の特産品ですが、漁獲高が安定していないため、加工場などが整備されず、地域内で消費されるにとどまり、産業としての発展が難しい状況です。この課題を解決するため、稚貝の生産から育成までを一貫して行う「完全養殖」の実現を目指し、取り組んでいます。

今回、もともと保管用冷凍庫として使用されていた建物に対し、設置する水槽の重量に耐えられるような床構造の補強工事や飼育環境を安定させるための空調設備、機器稼働に必要な電源設備の整備などを行いました。これらにより、稚貝の育成実験を行うために必要な環境が整い、ラボ（実験室）としての運用が可能な状態となりました。

今後、「月日貝」の完全養殖に取り組むことで鹿児島の新しい産業を育成していきたいと考えています。

◇地域資源活用支援

○魅力ある食品開発支援事業

本県の地域資源である良質で豊富な農林水産物を活用し、機能性表示食品やハラル認証食品等に向けた付加価値の高い食品の研究開発や商品開発に要する経費の一部を助成しました。(採択2件)

企業名：(有)エスランドル
所在地：南九州市川辺町田部田5329-2
業種：食料品製造業



《原料のらっきょう》



《食品加工工場内の様子》

《テーマ》
らっきょうフラクタンの構造分析と
プレバイオティクス効果について

《内容・成果》

これまで「漬物」が主流だったらっきょうに、「機能性食品」としての価値を付加することを目的とした研究を実施しました。

らっきょうに含まれるフラクタン（水溶性食物繊維）構造とプレバイオティクス（腸内善玉菌の増殖を促す）効果を、科学的に検証できました。この結果をもとに、健康を意識した新たな食品分野を探索していくこととしています。

企業名：(株)下園薩男商店
所在地：薩摩川内市湯田町1013-1
業種：食料品製造業



《商品パッケージ例》



《イワシの脂質計測》

《テーマ》
水揚げ増加の真イワシを使った新商品の開発

《内容・成果》

イワシを乾燥させた新商品の研究開発を行いました。

水揚げがあった脂質の多いイワシを適度に乾燥し、頭と内臓をとった状態で袋詰めにする事で、血タレで見た目が悪くなることなく、食感も硬くないイワシの商品開発を行いました。

湯煎で調理することができ、グリルを汚すことなく手軽に調理することが可能な商品を開発しました。魚の水揚げが始まり次第、製造し、道の駅などで販売開始予定です。

◇研究開発・技術支援

○先端技術研究開発支援事業

自社のアイデアや技術を活用し、①オンリーワンといえる革新的な新技術・新製品の研究開発、② AI・IoT やロボット等先端的な技術を活用したシステム開発等、③カーボンニュートラルの実現に向けた研究開発に要する経費の一部を助成しました。 (採択3件)

企業名：(株)エルム
所在地：南さつま市加世田宮原2398
業種：電気機械器具製造業

《テーマ》
生体リズム調整用LED照明器具の
実用化研究



《生体リズム調整用照明ユニット SyncLight》

《内容・成果》

特許技術を活用したLEDチップ製造技術に基づき、生体リズム調整に最適な光特性を有する照明器具の実用化研究を行いました。

本研究では、一人ひとりの生体リズムや生活スタイルに合わせて光環境を個別最適化する仕組みを構築しました。具体的には、健康管理用スマートリングが取得した「就寝・起床時刻」「睡眠効率」「深睡眠率」「中途覚醒回数」などのデータを解析し、その結果をもとに翌日の朝・昼・夜それぞれの時間帯に最適な光を個別に処方するシステムを実装しました。

今後は、解析対象データの拡充とAIを活用した高精度な解析モデルの構築を進め、より精緻な生体リズム最適化照明の実現を目指しています。

企業名：原絹織物(株)
所在地：奄美市名瀬鳩浜町260
業種：繊維工業

《テーマ》
泥染・藍染に依る皮革の商品化



《泥染・藍染に依る皮革で開発した商品例》

《内容・成果》

泥染めと藍染めの技術に特化して皮革を染織した商品開発を行いました。

大島紬の製造工程である、図案、締機、加工、織り、泥染・藍染のうち、泥染と藍染に特化して、皮革の染めを行いました。革の種類による染色後の変化や製品化における注意点等を確認でき、染めた皮革で商品を開発することができました。

本研究開発によって帽子、バッグ、洋服等を商品化し販売していく予定です。

令和7年度 助成金・補助金の採択企業を追加決定しました！

【成長型中小企業等研究開発支援事業補助金】

中小企業・小規模事業者が大学、公設試等の研究機関と連携して行う国の成長型中小企業等研究開発支援事業において、当センターが事業管理機関として支援するものです。

主たる研究等実施機関	研究開発計画名
(株)アーダン (奄美市)	シルクナノファイバー配合の環境配慮型日焼け止め製剤の開発

【先端技術研究開発支援事業助成金】

自社のアイデアや技術を活用し、①オンリーワンといえる革新的な新技術・新製品の研究開発、② DX、AI・IoT やロボット等先端的な技術を活用したシステム開発等、③GX、カーボンニュートラルの実現に向けた研究開発に要する経費の一部を助成するものです。 (募集期間：7月28日～8月22日)

企業名	テーマ
(株)システムビジョン(鹿児島市)	AIとロボットを活用したボトルチェック装置の開発

会員企業PRコーナー (KISC 会員限定)

事業案内、商品案内、新製品紹介等
会員企業の営業活動を支援します！

町田酒造株式会社

<https://satoake.jp>

【折龍No.1】 オーダーメイドの芸術的瓶に宿る、黒糖の甘みと燻香の本格焼酎

◆黒糖焼酎原酒をピート樽で熟成し、スモーキーな香味と琥珀色の輝きを実現。甘美な黒糖の旨みと樽からの燻香が見事に調和し、果実や葉草を思わせる複雑な香りが段階的に口の中で広がる。杜氏の技が光る、唯一無二の芸術的本格焼酎。



大島郡龍郷町大勝3321
TEL 0120-099762
資本金 2,000万円 従業員数 40名

◆事業内容
現住所に最新の大型設備を備えた工場を構え、ISO22000を認証取得するなど、高品質な焼酎造りに注力している。
貯蔵にも力を入れており、36年熟成の商品をはじめ、長期貯蔵ならではの深みを持つ焼酎を製造販売している。

【1997年7月会員加入】

日高水産加工有限公司

<https://www.hidakasuisan.co.jp/>

いちき串木野の特産品「さつま揚げ」の魅力伝えるYouTubeチャンネルを開設

◆SNS (YouTube) を使用し、いちき串木野市の特産品であるさつま揚げ・蒲鉾について解説するチャンネルを立ち上げました。

美味しく作るための秘訣や、製造方法・職人のこだわりについて解説しています。

一つの動画が約2分と、内容を短く纏めたのでサクサクと閲覧できます。

知識のネタとして楽しんで頂けたら幸いです。



いちき串木野市西薩町17-14
TEL 0996-32-9421
資本金 1,000万円
従業員数 28名

◆事業概要
さつま揚げ・蒲鉾の製造から販売

YouTube
チャンネル
QRコード



【2020年5月会員加入】

株式会社 横福

<https://kaorinokuroninniku.jp>

鹿児島県産にんにくの事なら横福へお任せください！

◆黒にんにくや焼き肉のタレなど、鹿児島県産にんにくを原料とした商品を販売しています。

小売用から業務用、原料販売、OEM製造承ります。

美味しく、美と健康もサポートする鹿児島県産にんにくのことなら横福へ！



加工場 霧島市横川町
中ノ3232-1
TEL 0995-56-8327
本社 鹿児島市中山町
147-2

◆事業内容
にんにくの六次産業

【2023年4月会員加入】

掲載企業募集中!

KISC 会員限定で掲載します (無料)。お申込みは下記まで

【申込み・問い合わせ先】

(公財) かごしま産業支援センター 総務情報課

TEL : 099-219-1275 FAX : 099-219-1279 E-mail : info@kisc.or.jp

奄美きよら海工房 (有)松山

<https://kyoraumi.com/>

奄美の風と海が育てた、心までやさしくなる黒糖と塩

【自然とともに、手しごとで

こだわりの純黒糖】

奄美の陽ざしと潮風を浴びて育ったサトウキビを、収穫から炊き上げまですべての工程を手作業で丁寧に仕上げています。やさしく、どこか懐かしい甘さです。



奄美市名瀬末広町5-3
TEL 0997-52-7345
資本金 300万円
従業員数 42名

◆事業概要

ケーキ・パン製造販売
レストラン
黒糖・塩製造

オンライン
ショップ →



【2023年4月会員加入】

【サンゴ礁の海がくれた贈りもの】

奄美サンゴ海水塩は、ミネラル豊富でまろやかな塩味。やわらかな風味が素材の味を引き立てます。

自然と人の手がつむぐ“島の味”。



ダイキチ食品株式会社

<https://yamasikunin.synapse-site.jp>

徳之島の自然が育んだ野生の島みかん“ヤマ・シークニン”

◆当社で取り扱っている“ヤマ・シークニン”は、徳之島に自生している島みかんです。

沖縄のシークワサーと類似した柑橘系ですが、種類の上ではまったく違います。

ヤマ・シークニンの魅力は、その含有成分です。柑橘系には、抗がん、血糖値、血圧降下に効果がある成分が含有されています。

ヤマ・シークニンの果皮粉末は、他の柑橘類に比べてきわめて高い含有量でした。

当社は、ヤマ・シークニンを平成15年に商標登録し、島内唯一の商品製造会社として今日に至ります。



大島郡徳之島町轟木674
TEL 0997-84-1009
資本金 300万円
従業員数 7名

◆事業概要

ヤマ・シークニンを使った製品の開発・製造・販売・卸業務



【2025年1月会員加入】

LET IT BEER 合同会社

<https://www.instagram.com/infoletitbeer/>

Our local pop beer !

◆次世代の当たり前、

大隅の乾杯ビールを目指して

レット・イット・ビールは、鹿屋市の小規模ブルワリーです。

ただ美味しいビールを造るのではなく、音楽やアートなどのカルチャーを繋ぐものであること、お年寄りと若者を繋ぐものであること、そして、つぎの世代に当たり前にならなければならないこと、そんなビールづくりを目指しています。

おかげさまで、11月で10周年を迎えました。



本社 鹿屋市打馬2-15-3
TEL 0994-45-7766
醸造所・ビアパブの住所
鹿屋市西大手町10-1
従業員数 4名

◆事業概要

クラフトビールの製造販売、及びビアパブ「Whack A Mole (ワッカモール)」の運営

【2025年4月会員加入】

きっとみつかる いい人、いい仕事



job sanko
ジョブ産雇



「キャリアバンク」
「サイジョブバンク」

「失業なき労働移動」の実現をめざす再就職・出向の専門機関

費用は
無料

企業と人材を結ぶエキスパート

産業雇用安定センター（ジョブ産雇）は、
国及び経済・産業団体の協力により設立された公的機関です。

6つの取り組みで働く^と雇用をサポート

1 離職する従業員の再就職をサポート

事業縮小や事業所閉鎖、早期退職募集で離職を余儀なくされる従業員の再就職活動をサポート

※離職者の再就職援助は事業主の責務です。

2 人材を確保したい企業に対するサポート

人手不足や事業拡大に伴い人材確保が必要な企業から、期待する能力や経験等の人材ニーズをお伺いし、ご希望に沿った人材をご紹介します。

3 「キャリア人材バンク」で高齢者の再就職をサポート

事業主からの依頼により定年退職者・再雇用終了となった方の再就職をサポートします。
離職後1年以内で60歳以上70歳までの求職者は個人登録も可能です。

4 雇用を維持するための在籍型出向をサポート

経済環境の変化や自然災害・感染症の影響などにより雇用過剰となった場合、社員の雇用を守るため、一時的な在籍型出向（雇用シェア）の活用をサポートします。

5 社員の人材育成やキャリアアップの出向をサポート

社員の人材育成や他の企業との交流を目的とする出向、社員が自発的なキャリアアップを希望する際の出向をサポートします。

6 従業員のスキルアップや研修を目的とするセミナー

（有料）

管理者や新入社員への研修、コミュニケーション、リーダーシップ、ハラスメント、コンプライアンスなどのセミナーを企業のご要望を踏まえオーダーメイドにより承ります。

公益財団法人 産業雇用安定センター（ジョブ産雇） 鹿児島事務所

〒890-0053 鹿児島市中央町 26-18 南日本中央ビル 4 階

TEL 099-812-9551 FAX 099-258-9101

詳しくはこちら▶



ISO 審査

教育・研修

【品質】【環境】【安全】

ISO 審査

- ・標準文書無料提供
- ・内部監査員研修優遇
- ・県内審査員で交通費も格安

地元で安心!! 審査員募集中!! ISO審査代理店

南日本審査株式会社

〒899-5431 鹿児島県始良市西餅田3344-2

TEL: 0995-64-5727 FAX: 0995-64-5078

URL: //www.minami-sinsa.com お気軽にご相談ください

公益財団法人 Kagoshima Industry Support Center
かごしま産業支援センター

〒892-0853

鹿児島市城山町1番24号（県中小企業会館4階）

TEL (099) 219-1270（代表）

FAX (099) 219-1279

E-mail: kisc@kisc.or.jp https://www.kisc.or.jp

